

歴史・文化サークル便り 2026.1 「こんなところに行田市の歴史・文化あり」第4回

「長光寺」



須加 長光寺

須加の松雲山長光寺は鎌倉時代から戦国時代に存在した須加城跡に、文禄 2 年(1593)に開山した曹洞宗の寺院です。

明治から昭和にかけて活躍した俳人・川島奇北の菩提寺で、句会も定期的に開かれ、利根の俳句の寺といわれております。

境内には市内7カ所ある芭蕉句碑(あの雲は 稲妻をまつ たより哉)もあります。長光寺は現在裏を流れる利根川堤防の改修工事で、施設の移転工事が続いている、その中に5代将軍・徳川綱吉の生母、桂昌院ゆかりの阿弥陀堂もあり、阿弥陀如来像を納めた桂昌院寄贈の厨子(市文化財指定)も修理され見違えるほど輝いております。

文・写真：紺野 仁



阿弥陀如来像 厨子



川島奇北の墓



芭蕉句碑



須加城跡